

中間評価結果の概要

【重点戦略編】

【基本計画編】

【地域計画編】

平成21年12月15日
茨城県

県計画の概要

新茨城県総合計画 元気いばらき戦略プラン 共に創ろう 住みよいいばらき

平成18年度
平成22年度



我が国は今、人口減少社会の到来という歴史的転換期にあるとともに、グローバルな競争時代を迎えています。このような中、本県は、豊かな自然と暮らしやすい気候風土、特色ある歴史・文化、豊富な観光資源、最先端の科学技術や日本有数の産業の集積、さらには、農業に特化した産地・高・空の広域交通ネットワークなど、様々な強みや潜在力を有しています。これらをも一層伸ばさせ、最大限に活用していくとともに、県民一人ひとりが主眼となって、その強みや潜在力を発揮しながら、いばらきづくりに邁進していくことにより、本県を特色ともって発展させていくという思いが込められています。このような思いのもと、今後、県民や企業、NPO、市民団体など様々な力の協力を得て、新しい茨城県総合計画「元気いばらき戦略プラン」を策定しました。このプランでは、経済・暮らし・人が輝くいばらき、安心・安全で快適な暮らし、住みよいいばらき、充実した教育が行われ個性や能力が発揮できる人が輝くいばらきという3つの目標を定めました。私は、この目標の実現に向けて、全力で頑張ります。県民の皆様には、このプランの目標や取組に賛同を願い、共にこれからのいばらきづくりに取り組んでまいりますよう、心からお願いたします。

茨城県知事 橋本 昌

2つの基本姿勢

既存資源やストックの最大限の活用と県民が主役の県づくりを進めます。

茨城の資源や潜在力を磨き活用する

- 霞ヶ浦や筑波山など水と緑の豊かな自然
- 特色ある歴史・文化
- 最先端の科学技術や日本でも有数の産業技術の集積
- 整備が進む広域交通ネットワーク



県民が主役となって これからの「いばらき」を共に創る



3つの基本方向

「経済」や「暮らし」の質をさらに高め、「人」が個性や能力を発揮できる「いばらき」を目指します。

経済 競争力あふれる産業大県 活力あるいばらき



暮らし 安心・安全で快適な「住みよいいばらき」

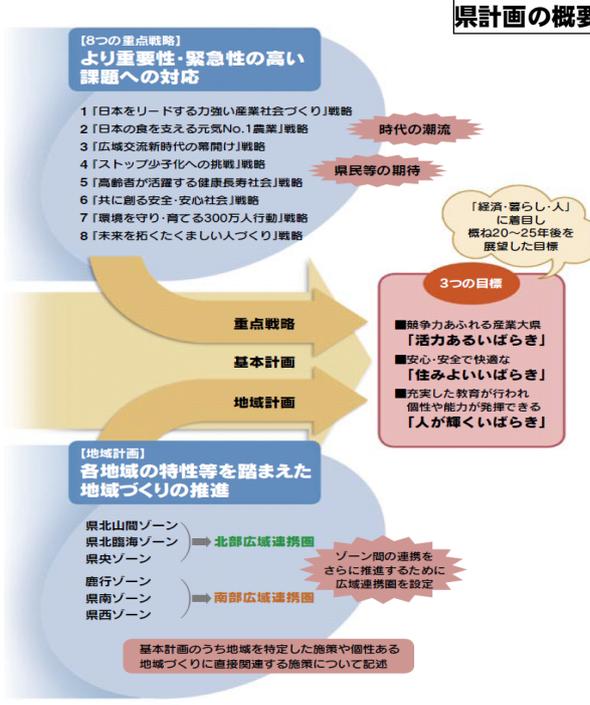


人が輝くいばらき



【基本計画】 着実に推進する幅広い分野の施策

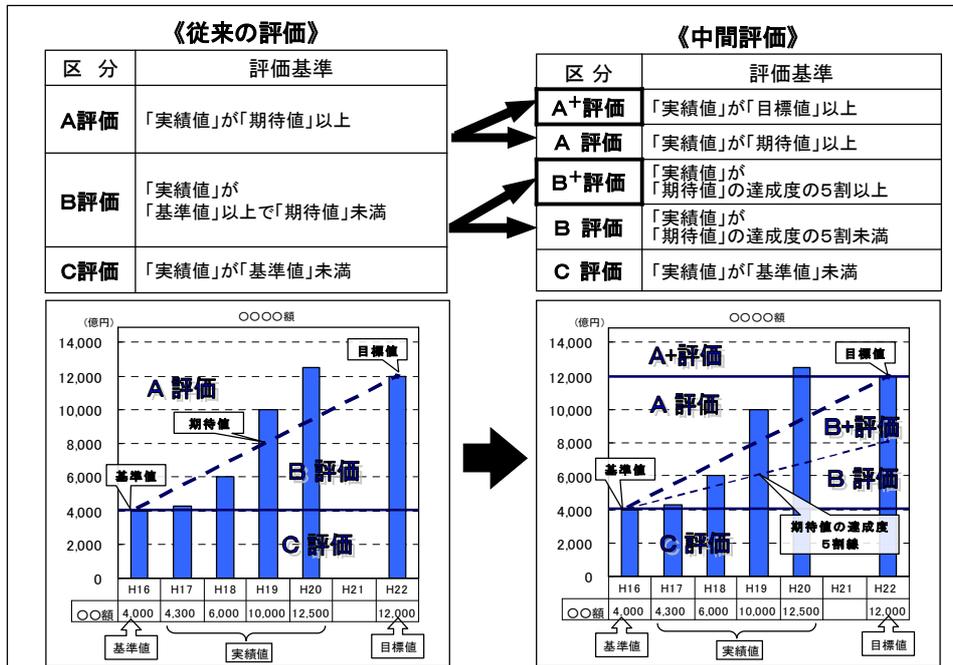
- 活力あるいばらきづくり**
 - 科学技術を活かした先端産業の育成 (研究開発、産業利用、科学技術人材、科学技術に親しむ機会等)
 - 競争力のある商工業の育成と企業立地の促進 (産業集積、企業立地、ものづくり、ベンチャー、特産品、商業・サービス業等)
 - 新鮮・安全で多様なニーズに応えられる農林水産物の産地づくり (生産基盤、販売力、消費者の信頼、林業・木材産業、水産業、農山漁村等)
 - 産業を支える人材の育成と就業の促進 (人材育成、技能継承、雇用機会、就業環境等)
 - 人・もの・情報が活発に行き交う交流空間づくり (陸・海・空の広域交通ネットワーク、観光、物流、IT等)
 - いばらきブランドの確立 (地域資源、ブランド力、情報発信等)
- 住みよいいばらきづくり**
 - 安心な暮らしを支える保健・福祉・医療の充実 (少子化、高齢者、障害者、健康づくり、保健・福祉・医療等)
 - 平穏で安全に暮らせる社会づくり (治安、交通安全、消費生活、食の安全、防災、原子力、県土保全等)
 - 環境への負荷の少ない持続可能な社会づくり (地球環境、地域環境、湖沼環境、廃棄物、自然等)
 - 快適で質の高い生活環境づくり (まちづくり、生活交通、生活衛生環境等)
 - 地域社会活動の推進と世界に開かれた社会づくり (地域社会活動、国際化、多文化共生等)
- 人が輝くいばらきづくり**
 - 未来を担う人づくり (社会での教育、学力と個性、心と体、魅力ある学校等)
 - 一人ひとりが尊重される社会づくり (男女共同参画、人権尊重等)
 - 個性や能力を伸ばす機会と社会参画の促進 (青少年、高等教育、能力向上等)
 - 学習環境の充実と文化・スポーツの振興 (生産学習、文化芸術、生涯スポーツ等)



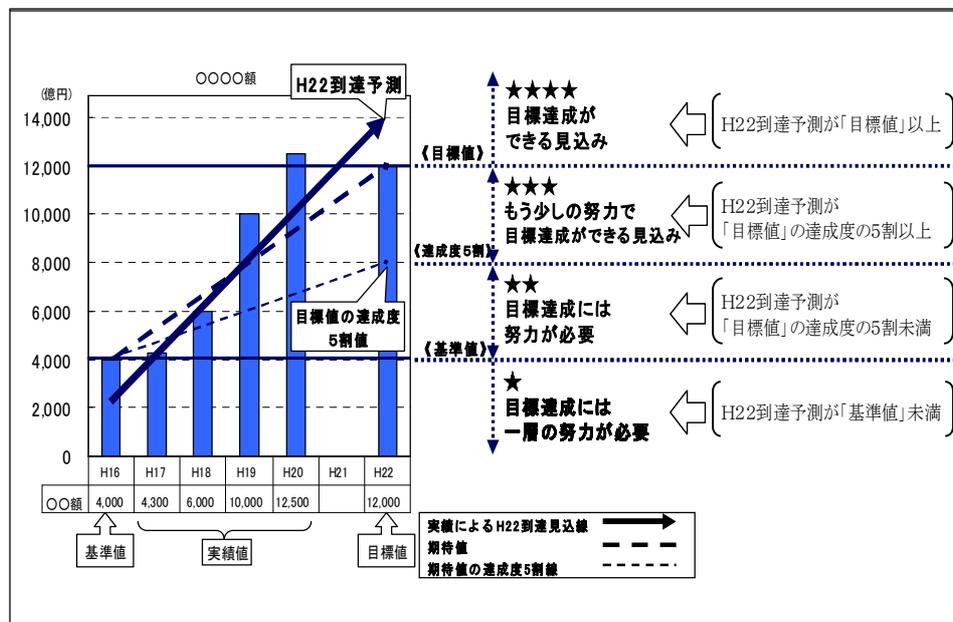
県計画の概要

【進捗状況の評価について（5段階評価）】

評価方法



【目標達成見込みについて】



重点戦略編

【数値目標の進捗状況(総括表)】

	戦略名	A+ 評価	A 評価	B+ 評価	B+評価 以上	B 評価	C 評価	評価対象 指標数
活力ある いばらき	日本をリードする 力強い産業社会づくり	8 (38.1)	5 (23.8)	4 (19.1)	17 (81.0)	1 (4.7)	3 (14.3)	21 (100)
	日本の食を支える 元気NO1農業	3 (17.6)	7 (41.2)	3 (17.6)	13 (76.4)	2 (11.8)	2 (11.8)	17 (100)
	広域交流新時代 の幕開け	3 (21.4)	4 (28.6)	4 (28.6)	11 (78.6)	2 (14.3)	1 (7.1)	14 (100)
住みよい いばらき	ストップ少子化 への挑戦	1 (5.6)	5 (27.8)	2 (11.1)	8 (44.5)	6 (33.3)	4 (22.2)	18 (100)
	高齢者が活躍する 健康長寿社会	0 (—)	2 (15.4)	4 (30.8)	6 (46.2)	6 (46.2)	1 (7.7)	13 (100)
	共に創る 安全・安心社会	1 (5.9)	6 (35.3)	5 (29.4)	12 (70.6)	3 (17.6)	2 (11.8)	17 (100)
	環境を守り・育てる 300万人行動	0 (—)	3 (33.3)	0 (—)	3 (33.3)	1 (11.1)	5 (55.6)	9 (100)
人が輝く いばらき	未来を拓く たくましい人づくり	2 (7.4)	4 (14.8)	6 (22.2)	12 (44.4)	11 (40.8)	4 (14.8)	27 (100)
合計		18 (13.2)	36 (26.5)	28 (20.6)	82 (60.3)	32 (23.5)	22 (16.2)	136 (100)

【数値目標の達成見込み(総括表)】

目標	戦略名	★★★★ 目標達成 ができる 見込み	★★★ もう少しの 努力で目標 達成できる 見込み	★★★ 以上	★★ 目標達成 には努力 が必要	★ 目標達成 には一層 の努力が 必要	評価対象 指標数
活力ある いばらき	日本をリードする 力強い産業社会づくり	4 (44.5)	3 (33.3)	7 (77.8)	1 (11.1)	1 (11.1)	9 (100)
	日本の食を支える 元気NO1農業	3 (50.0)	1 (16.7)	4 (66.7)	1 (16.7)	1 (16.7)	6 (100)
	広域交流新時代 の幕開け	3 (60.0)	1 (20.0)	4 (80.0)	1 (20.0)	0 (—)	5 (100)
住みよい いばらき	ストップ少子化 への挑戦	1 (14.3)	1 (14.3)	2 (28.6)	4 (57.1)	1 (14.3)	7 (100)
	高齢者が活躍する 健康長寿社会	1 (20.0)	2 (40.0)	3 (60.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	5 (100)
	共に創る 安全・安心社会	2 (33.3)	2 (33.3)	4 (66.6)	1 (16.7)	1 (16.7)	6 (100)
	環境を守り・育てる 300万人行動	1 (25.0)	0 (—)	1 (25.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	4 (100)
人が輝く いばらき	未来を拓く たくましい人づくり	1 (9.1)	2 (18.2)	3 (27.3)	5 (45.4)	3 (27.3)	11 (100)
合計		16 (30.2)	12 (22.6)	28 (52.8)	15 (28.3)	10 (18.9)	53 (100)

- 『B+評価』以上が約60%、『★★★』以上が約53%
 ○ 『活力あるいばらき』の戦略は概ね7割から8割で期待どおりの成果
 ○ 『ストップ少子化への挑戦』戦略『環境を守り育てる300万人行動』戦略
 『未来を拓くたくましいひとづくり』戦略については、より一層重点的に
 取り組んでいくことが必要

1 『日本をリードする力強い産業社会づくり』戦略

評価

1 成果

- 工場立地件数、工場立地面積が全国トップレベルの実績
- 大強度陽子加速器(J-PARC)の稼働、県中性子ビームラインの供用開始、産学連携による共同研究の促進など、産学官連携の各種計画が進展
- 従業員1人当たり製造品出荷額も順調に増加

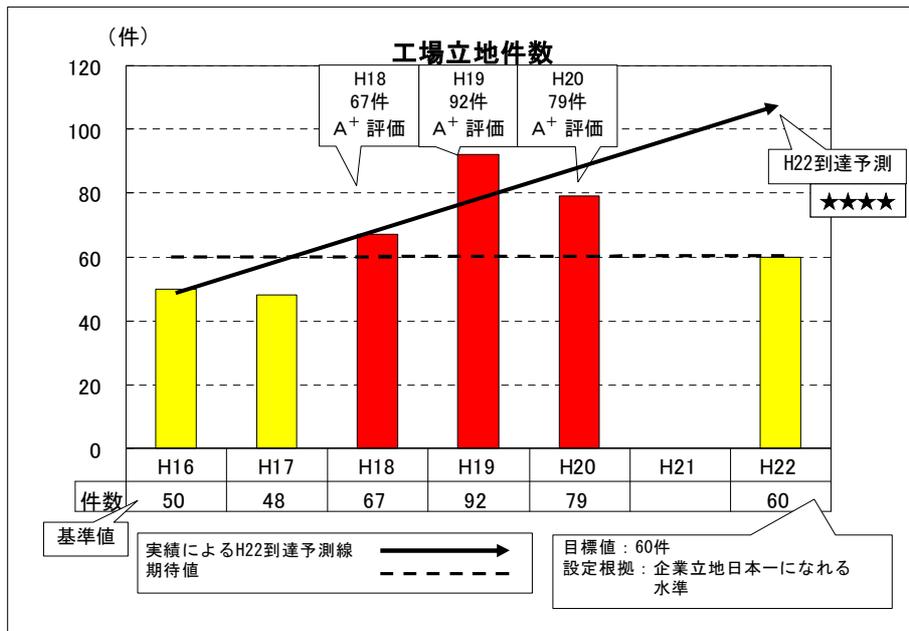
2 課題

- 工業団地における未分譲地の早期解消
- 依然として厳しい経営環境にある中小企業への支援
- 大型店の郊外出店などにより影響を受けている既存商店街の活性化

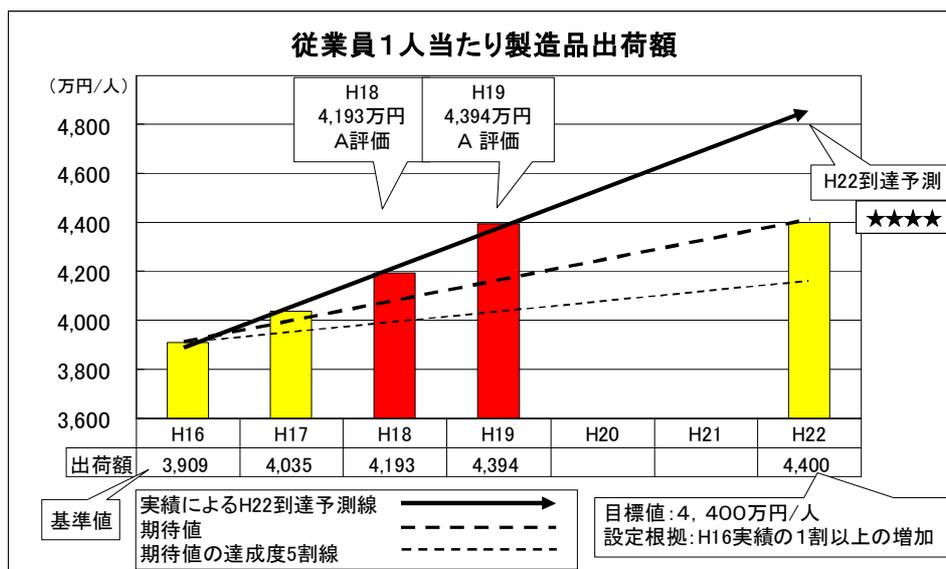
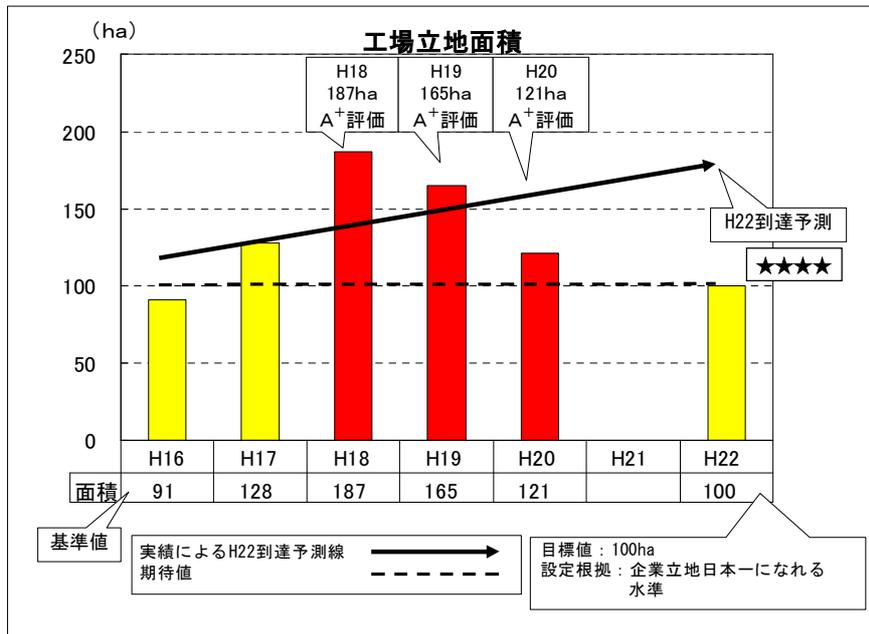
今後の方向

- 本県の立地優位性のPRや各種優遇制度を活用した積極的な企業誘致の推進
- 中小企業に対する経営面・技術面・人材育成面の支援をより一層充実
- 事業者や地域住民などのアイデアを活かした賑わいのある商店街の創出

【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



2 『日本の食を支える元気NO.1農業』戦略

評 価

1 成 果

- ・ 農業改革7年目、県内各地において元気な産地や農業者が増加
- ・ H19農業産出額が、対前年比94億円増で全国第3位へ（H18第4位）
- ・ 東京都中央卸売市場での県産農産物シェアが5年連続1位

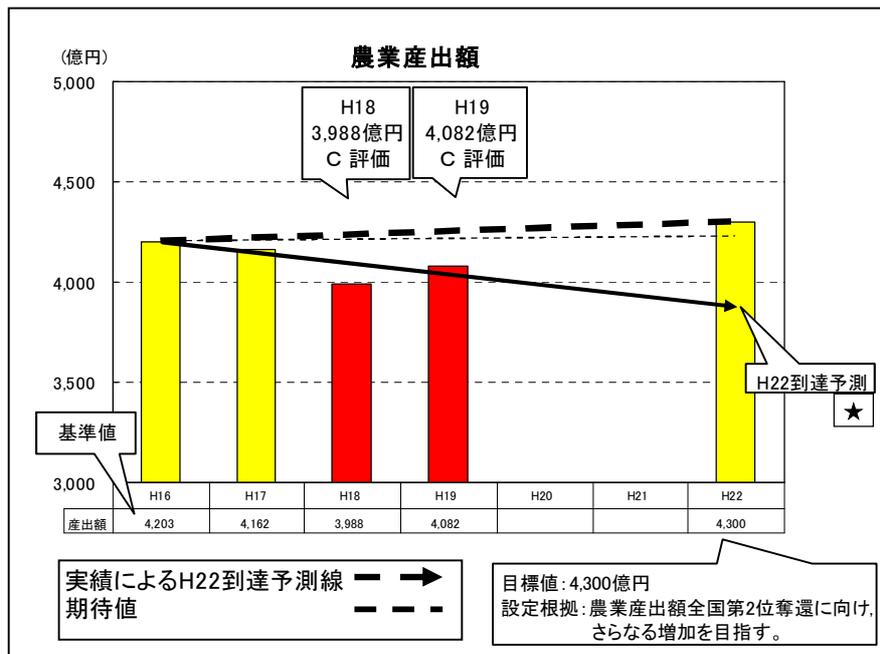
2 課 題

- ・ 地域の意欲ある担い手の確保
- ・ 消費者の食の安全・安心や環境への関心の高まりへの対応
- ・ 本県農産物のブランド力の強化

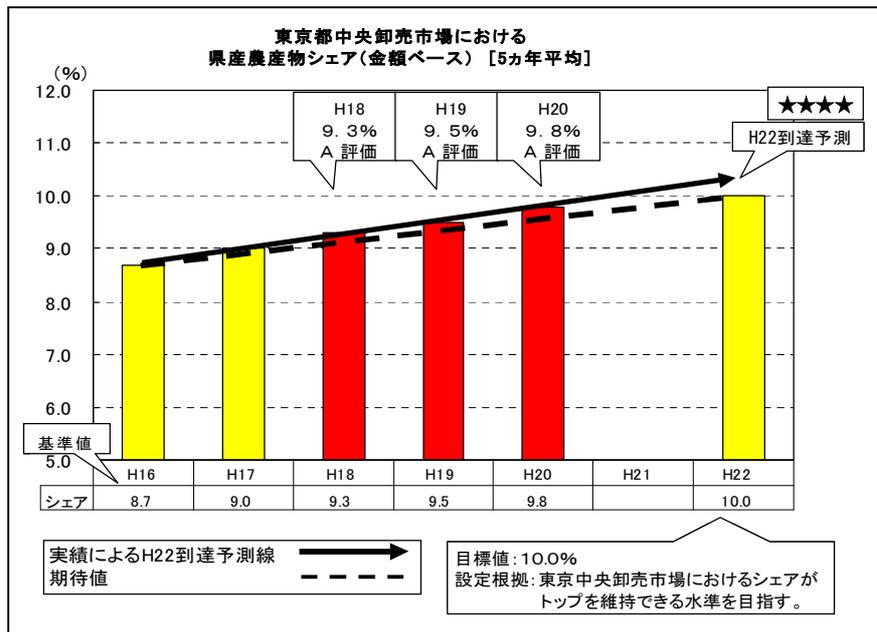
今後の方向

- ・ 農業改革の一層の推進（元気な産地の取り組みの県内全域への波及・拡大など）
- ・ 県・市町村・JA等が一体となった本県の農業を支える担い手の確保・育成
- ・ 生産段階から販売段階までの継続した指導・支援
- ・ 「エコ農業茨城」の推進による本県農産物のイメージアップ
- ・ 常陸牛やメロン・コシヒカリについて、重点的なPR・販売促進活動を展開

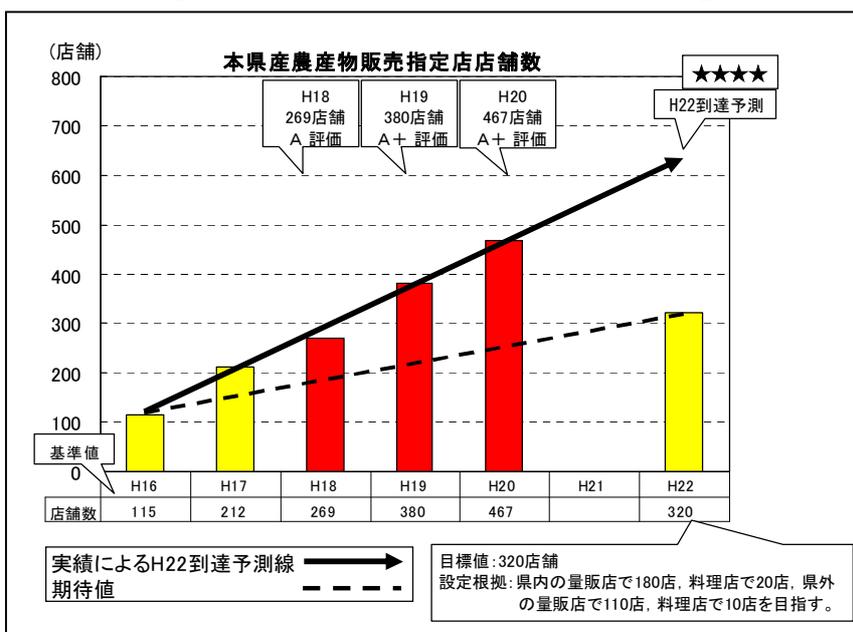
【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



3 『広域交流新時代の幕開け』戦略

評価

1 成果

- ・ 北関東道の県内全線開通、圏央道整備の進展により広域交通の利便性が向上
- ・ 年間観光客数は、目標(年間5000万人)の達成に向け順調に増加
- ・ 「つくばスタイル」や「いばらきさとやま生活」などの新たなライフスタイルの提案による本県の認知度向上などにより、県外からの人口流入・定住化が進展

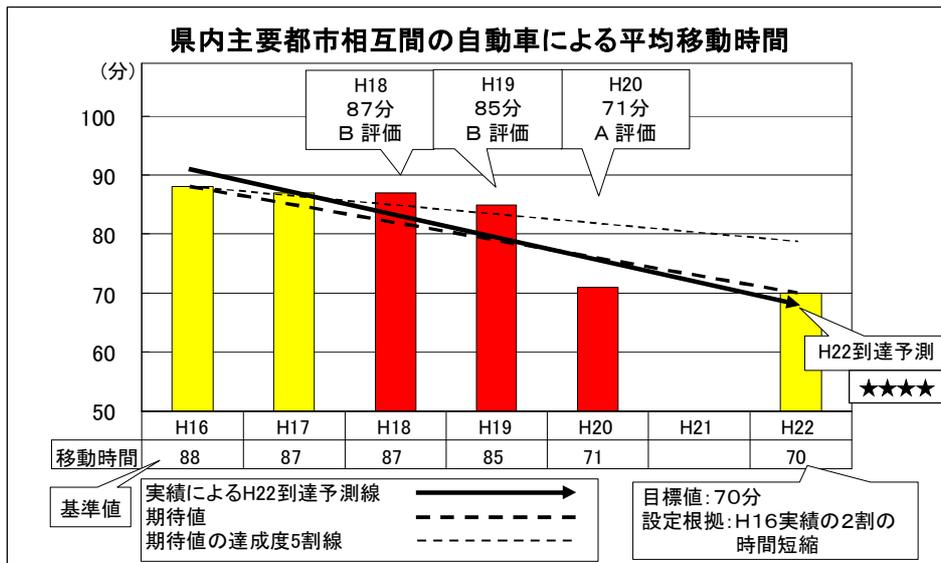
2 課題

- ・ 県内主要都市相互間の自動車による平均移動時間のさらなる短縮
- ・ さらなる観光客の誘客促進のため、隣接県等との広域連携の推進
- ・ 新たなライフスタイルとしてのブランドイメージの構築による交流・定住の促進
- ・ 物流の高度化・効率化による競争力強化

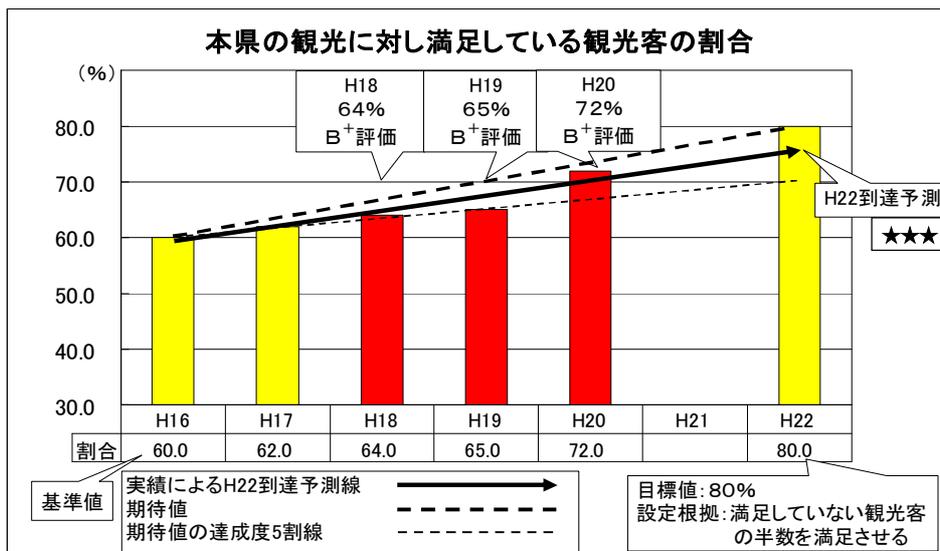
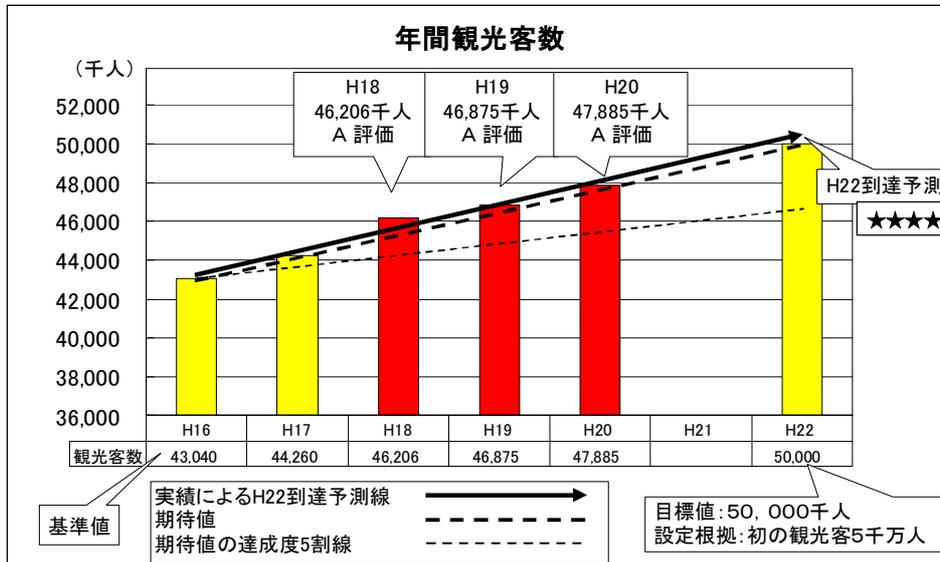
今後の方向

- ・ 県土60分構想の実現や広域交通ネットワークの早期完成
- ・ 新たな観光資源の発掘や隣接県等との連携した国際観光など魅力的な受け皿の創出による広域交流の拡大
- ・ 新たなライフスタイルの効果的なPR
- ・ 広域連携物流特区計画の推進など物流の効率性と競争力の強化

【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



4 『ストップ少子化への挑戦』戦略

評価

1 成果

- ・ いばらき出会いサポートセンターの会員数や成婚率が増加
- ・ 放課後児童クラブ設置数が増加
- ・ 多子世帯の保育料の一部助成の創設やいばらき子育て家庭優待制度(約4,400店舗協賛)など、社会全体で子育て家庭を支援する気運が醸成

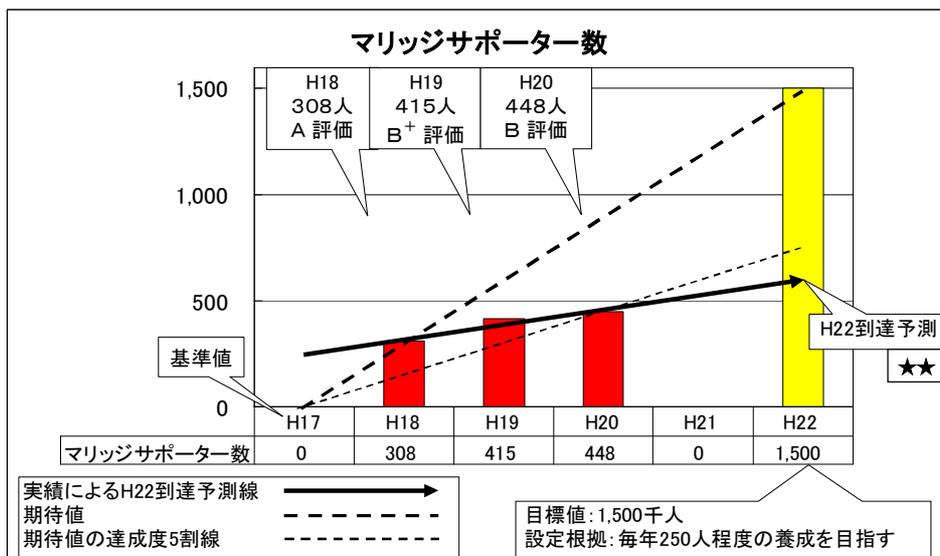
2 課題

- ・ ポジティブキャンペーンなど結婚や子育ての素晴らしさや楽しさに関する情報発信強化
- ・ 保育所待機児童の解消
- ・ 子育て等に係る経済的負担の軽減
- ・ 子育て家庭を社会全体で支援する気運の醸成

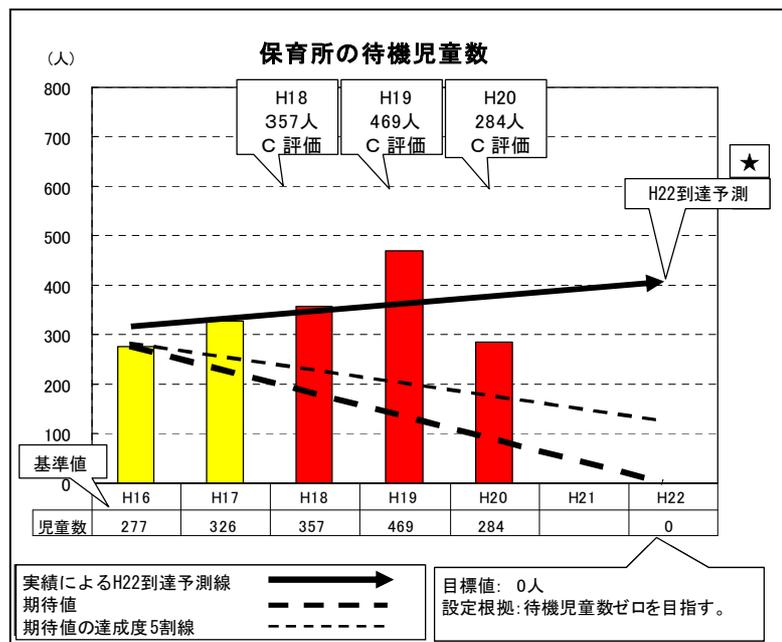
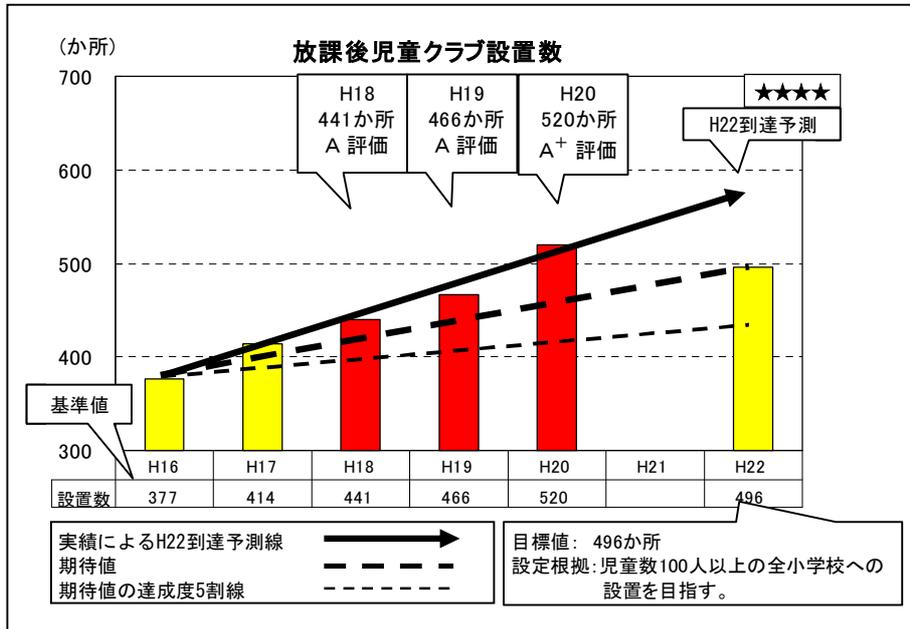
今後の方向

- ・ サポートセンターの利便性の向上や市町村・マリッジサポーター等との連携強化などによる結婚支援活動の充実
- ・ 市町村と連携し、保育所の整備や認定こども園の促進などによる保育所の定員増
- ・ 妊産婦や未就学児の医療費等の助成、多子世帯の保育料助成を行い、子育て家庭の経済的負担を軽減
- ・ いばらき子育て家庭優待制度(いばらきキッズクラブカード)のさらなる浸透による社会全体の気運の醸成

【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



5 『高齢者が活躍する健康長寿社会』戦略

評価

1 成果

- ・ヘルスロードの指定やシルバーリハビリ体操指導士の養成数は着実に増加
- ・地域ケアシステムの在宅ケアチーム数、認知症介護アドバイザーなどの養成数も年々増加
- ・元気シニアバンク事業については、その利用件数が着実に増加

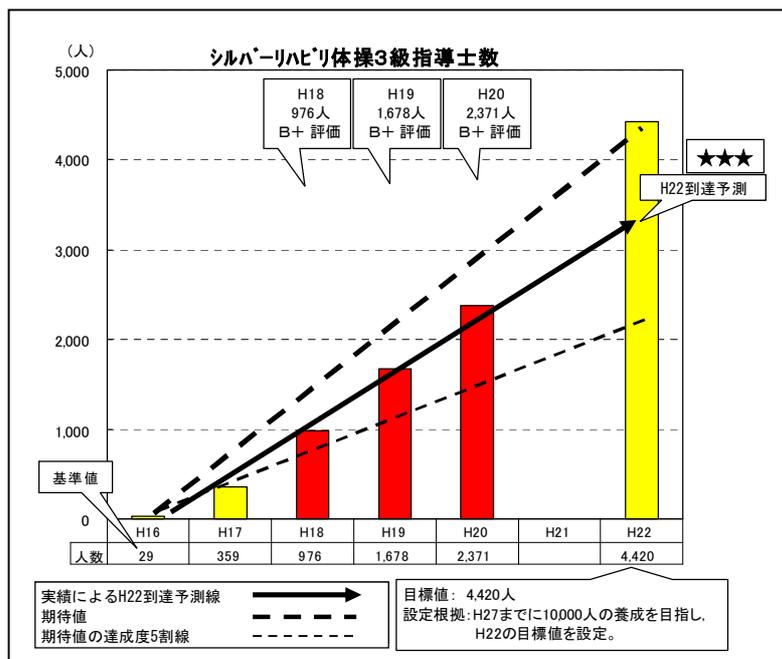
2 課題

- ・救急医療体制については、第二次・第三次医療機関に軽症患者が集中
- ・医師や看護職員は増加傾向にあるものの依然として不足する状況

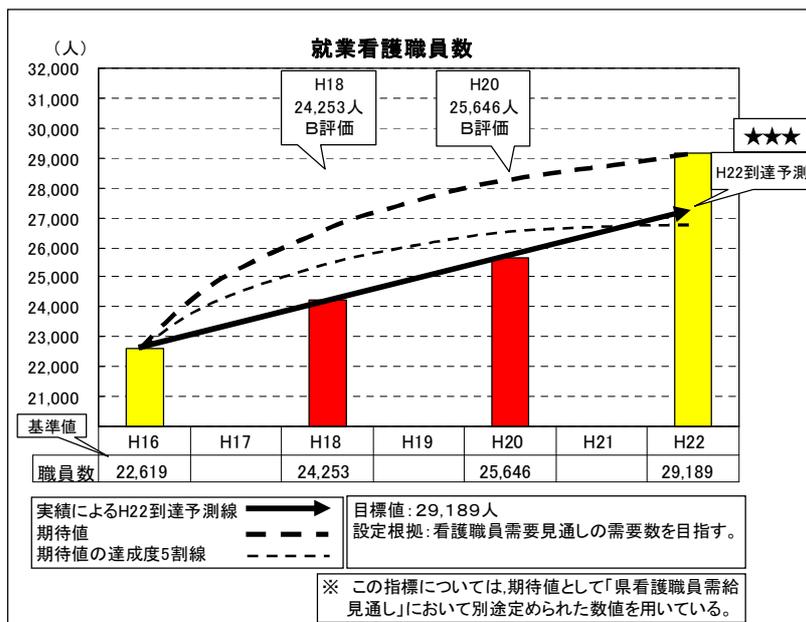
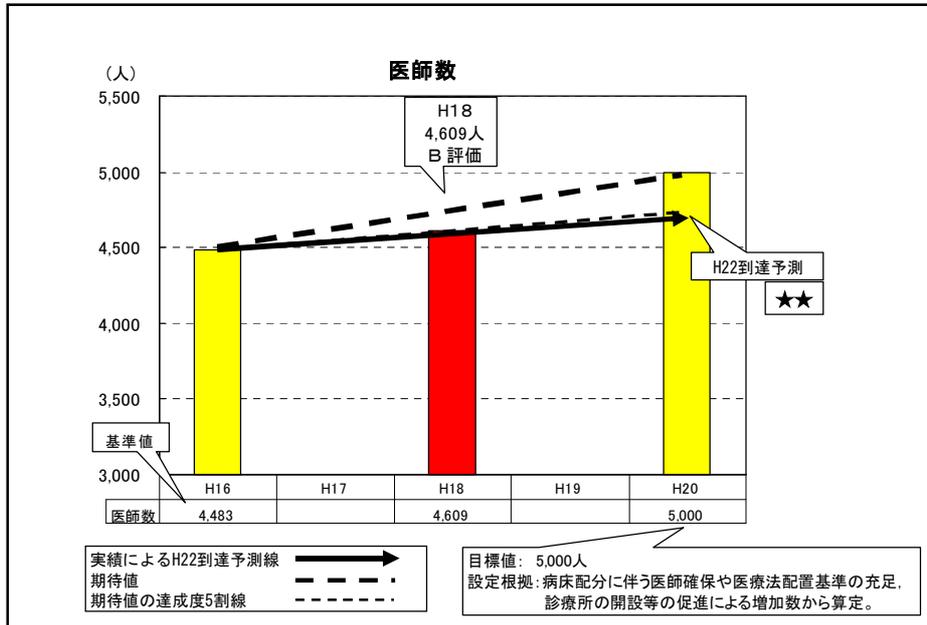
今後の方向

- ・働く意欲のある高齢者の就労支援の充実などにより健康長寿社会づくりの推進
- ・休日・夜間急患センターなどの初期医療体制の充実
- ・医科大学との連携強化や女性医師の就業支援等による医師確保対策
- ・看護職員の養成、定着促進等による医療体制の充実

【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



6 『共に創る安全・安心社会』戦略

評価

1 成果

- ・ 犯罪抑止総合対策推進の結果、刑法犯認知件数は6年連続で減少
- ・ 交通事故防止総合対策推進の結果、人身交通事故件数は8年連続で減少
- ・ 治安の悪化を感じている県民の割合や交通事故による死者数も減少傾向
- ・ 新インフルエンザ対策として、薬の備蓄や医療資機材の整備、医療機関の協力による感染症患者受入病床数を確保

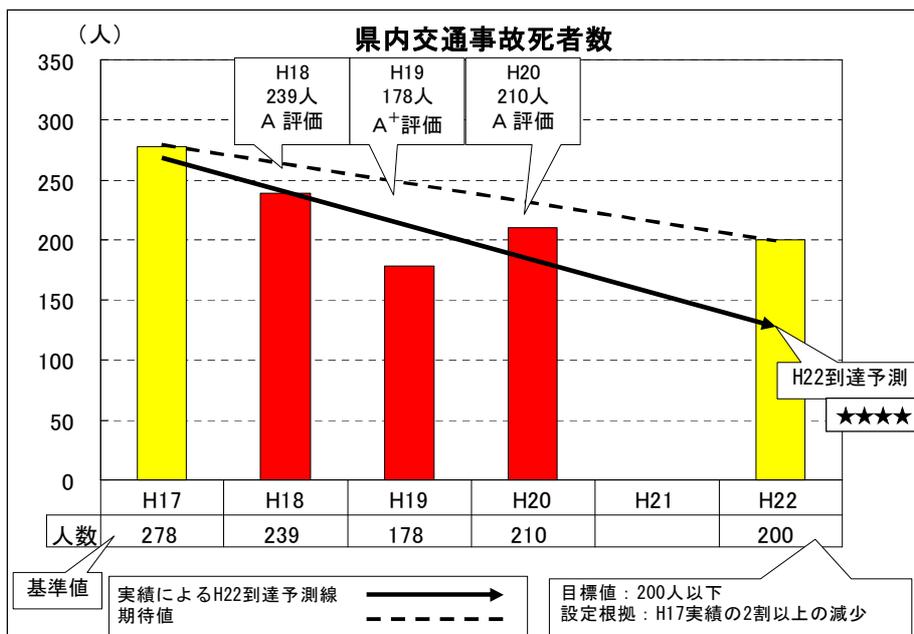
2 課題

- ・ 全国と比較して自主防災組織率が低い
- ・ 原子力施設におけるヒューマンエラーが毎年度発生

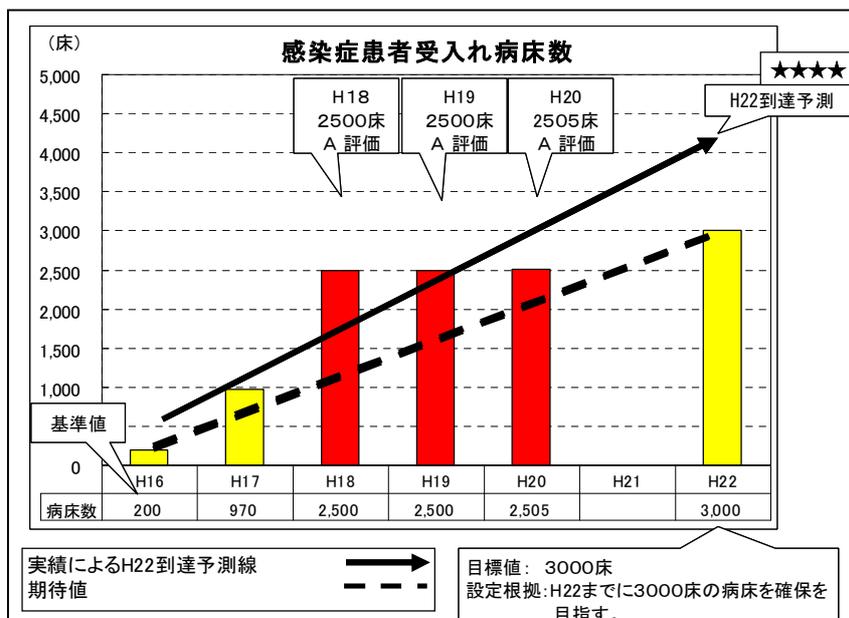
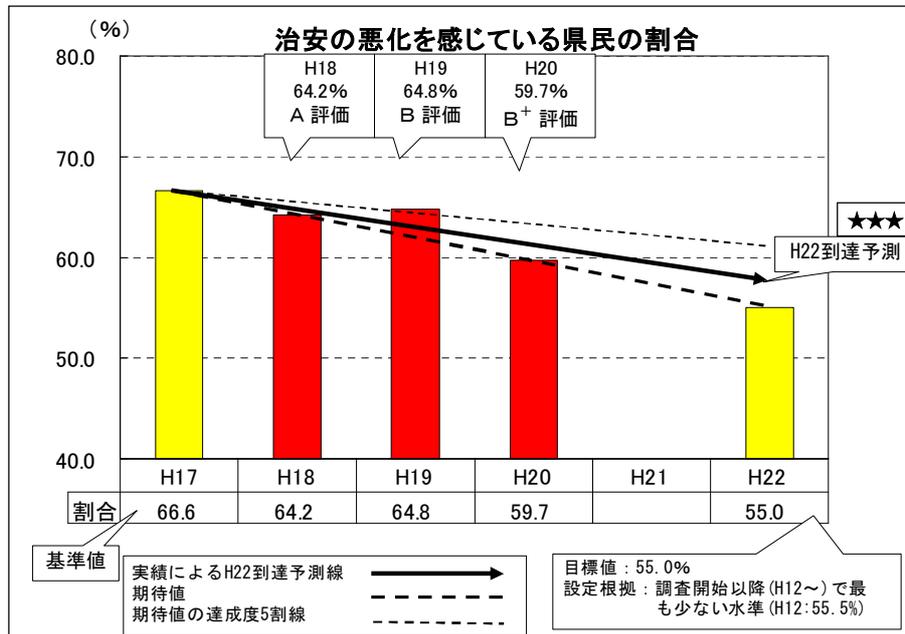
今後の方向

- ・ 総合防災訓練等への自主防災組織や一般県民の積極的な参加の促進による県民の防災意識の向上
- ・ よりきめ細かい調査・指導を行うなど原子力施設における事故・故障発生の未然防止及び再発防止

【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



7 『環境を守り・育てる300万人行動』戦略

評価

1 成果

- ・ 家庭や運輸部門からの温室効果ガス排出量はピーク時と比較して減少
- ・ 環境学習や環境保全活動の参加者が年々増加し期待どおりの成果
- ・ ごみ排出量は、平成19年度に横ばいから減少に転換

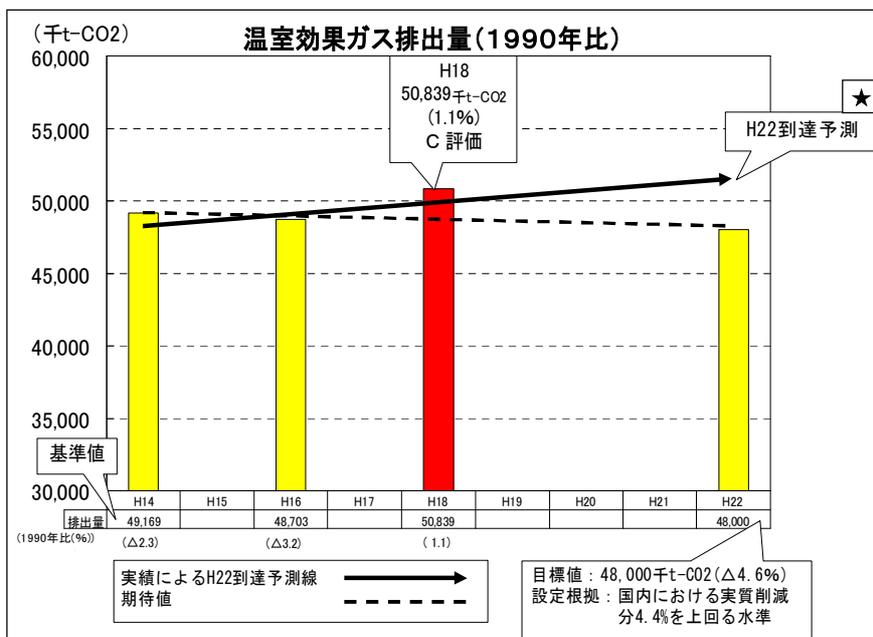
2 課題

- ・ 産業部門からの温室効果ガス排出量が7割を占めるため産業活動とバランスをとりながら排出削減に取り組むことが必要
- ・ 霞ヶ浦の汚濁負荷の要因は多岐に渡り、効果発現にも期間が必要なため、長期に渡る着実かつ持続的な汚濁負荷削減の取り組みが必要

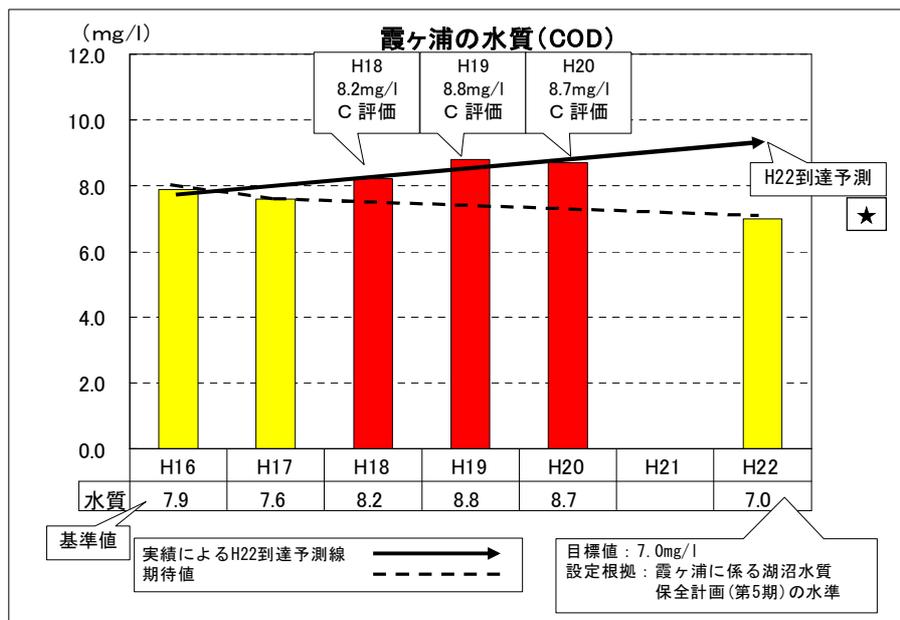
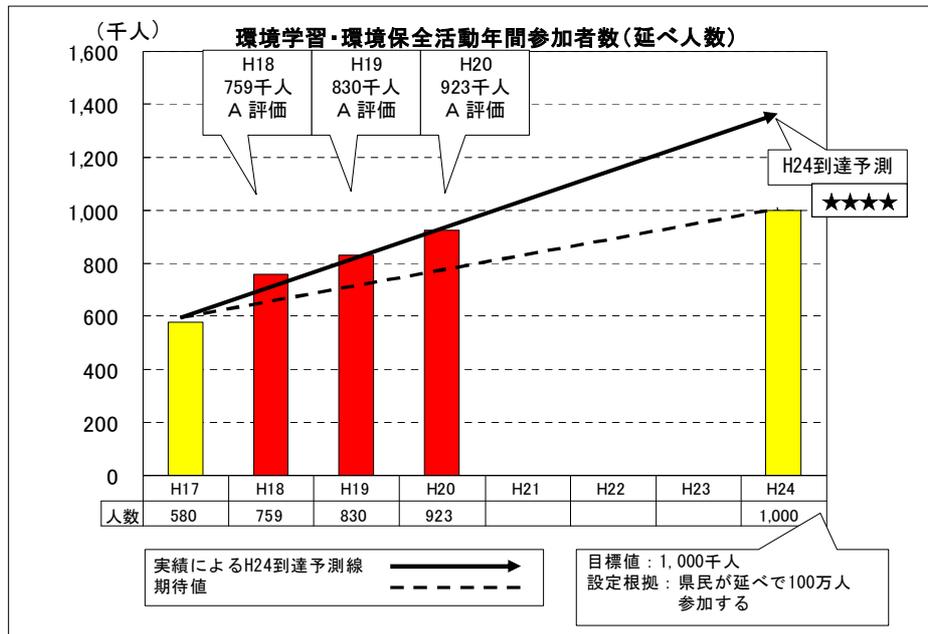
今後の方向

- ・ 産業部門の温室効果ガス排出量削減を促進する取組への支援
- ・ 霞ヶ浦水質保全条例や第5期霞ヶ浦水質保全計画に基づく総合的・計画的な各種浄化対策の実施

【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



8 『未来を拓くたくましい人づくり』戦略

評価

1 成果

- ・ 小中学校の基礎的・基本的な知識の向上や読書活動が活発化
- ・ 高等学校における「道徳」授業の導入

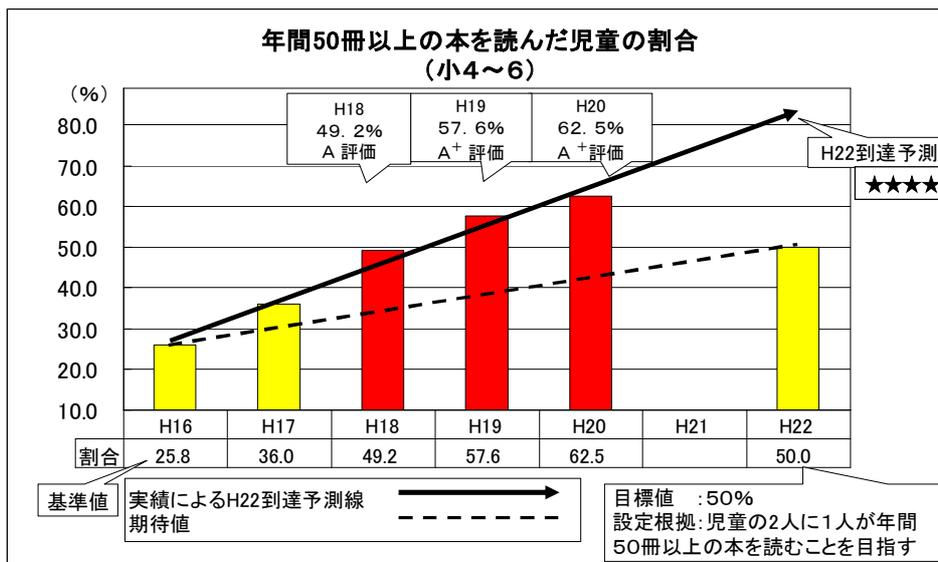
2 課題

- ・ 中・高校生の朝食摂取率の低下
- ・ 大人の意識改革について、県民ひとりひとりへの更なる浸透が必要
- ・ ひきこもりやフリーター等の青年への対応
- ・ 国際的な視野や異文化に対する理解の育成

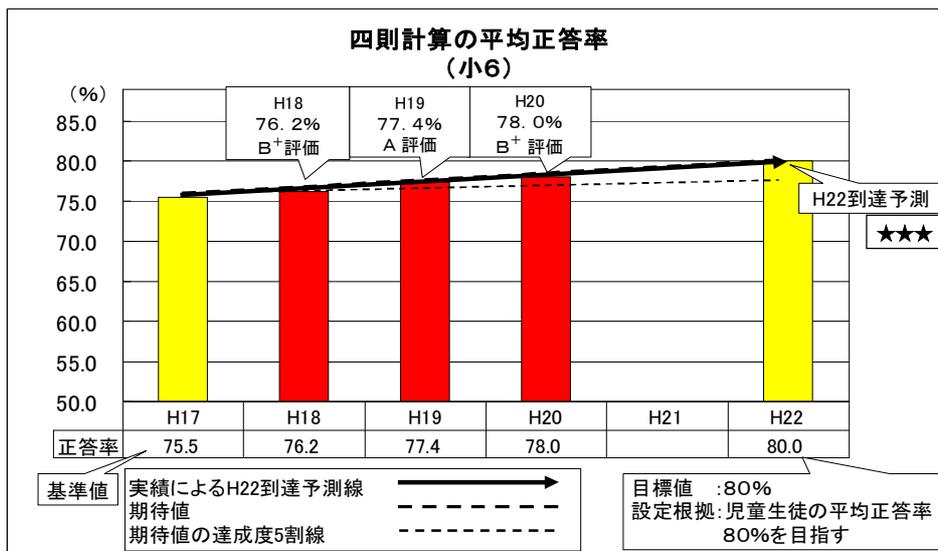
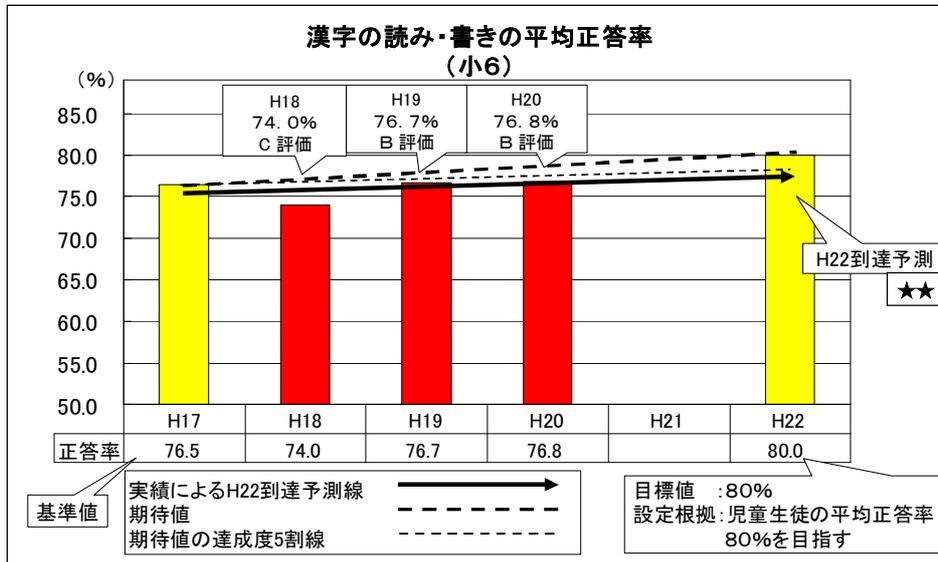
今後の方向

- ・ 食育の推進
- ・ 大人の意識改革の県民運動の拡充及び女性リーダーの育成
- ・ ボランティア活動に取り組む青少年の養成やひきこもり・フリーター等の青年への支援
- ・ ALTの活用など小学校の外国語活動の充実
- ・ 青年海外協力隊など国際社会で活躍できる人材を育成

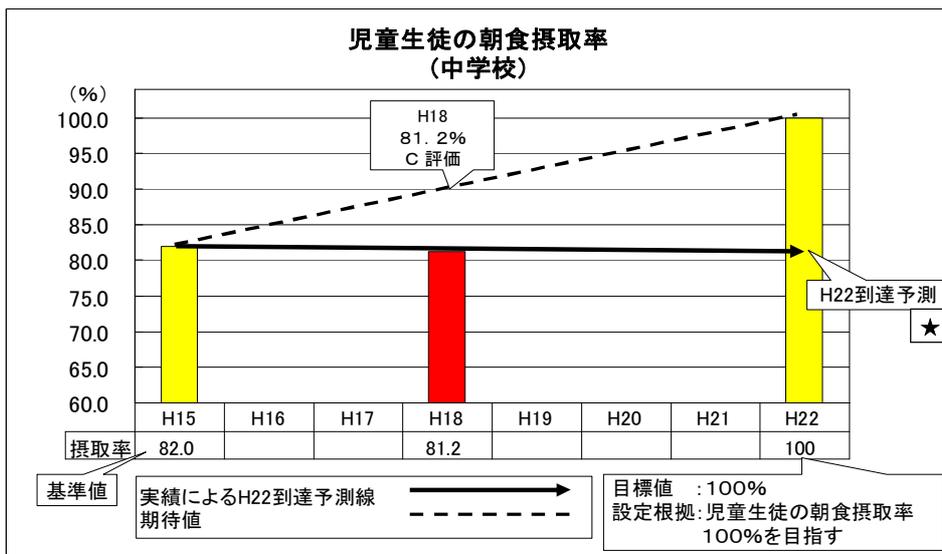
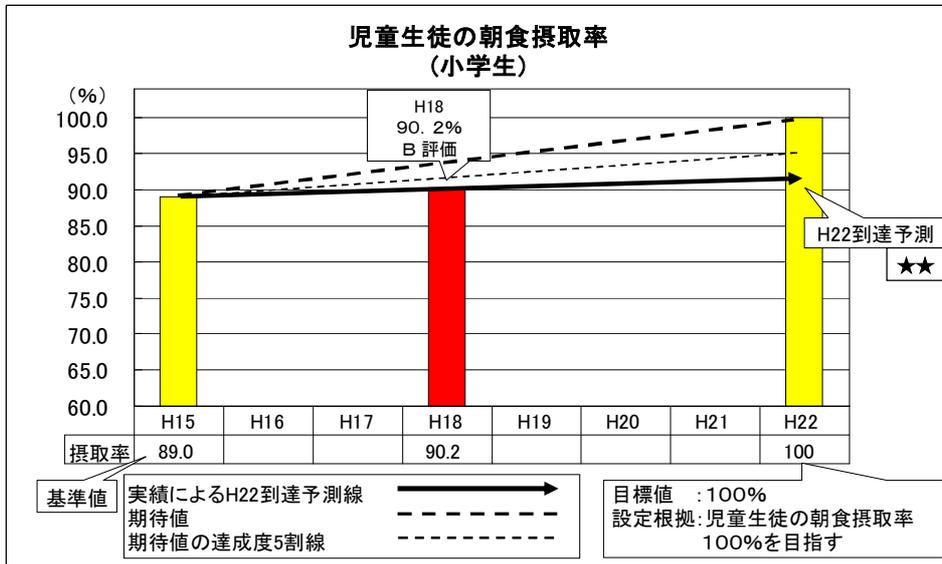
【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



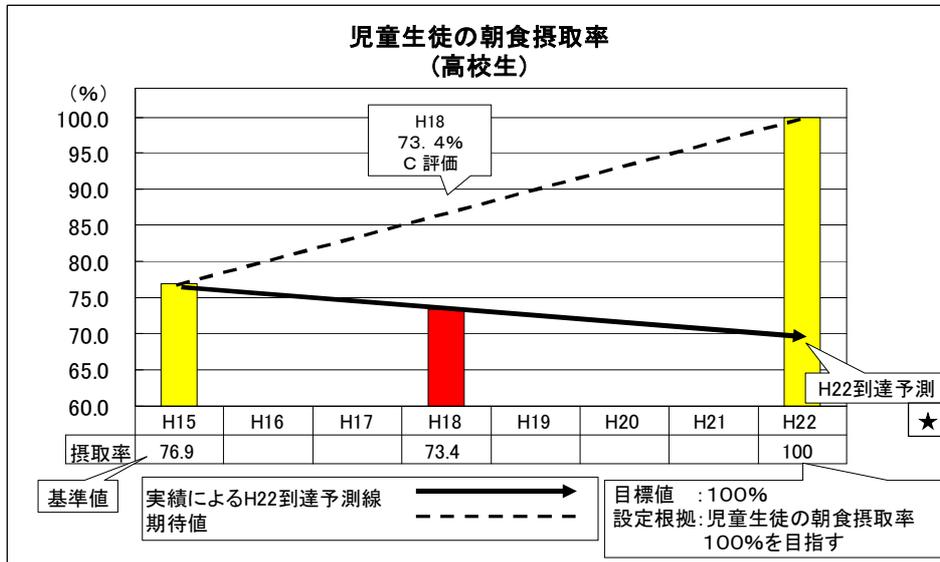
【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】



基本計画編

【数値目標の進捗状況(総括表)】

区 分	A+ 評価	A 評価	B+ 評価	B+評価 以上	B 評価	C 評価	評価対象 指標数
活力あるいばらき	44 (25.4)	49 (28.3)	30 (17.4)	123 (71.1)	32 (18.5)	18 (10.4)	173 (100)
住みよいいばらき	14 (10.1)	28 (20.1)	54 (38.9)	96 (69.1)	24 (17.2)	19 (13.7)	139 (100)
人が輝くいばらき	7 (8.9)	22 (27.8)	22 (27.8)	51 (64.5)	22 (27.9)	6 (7.6)	79 (100)
合 計	65 (16.6)	99 (25.3)	106 (27.1)	270 (69.0)	78 (20.0)	43 (11.0)	391 (100)

【数値目標の達成見込み(総括表)】

区 分	★★★★ 目標達成 ができる 見込み	★★★ もう少し の努力で 目標達成 ができる 見込み	★★★ 以上	★★ 目標達成 には努力 が必要	★ 目標達成 には一層 の努力が 必要	評価対象 指標数
活力あるいばらき	34 (49.3)	16 (23.2)	50 (72.5)	11 (15.9)	8 (11.6)	69 (100)
住みよいいばらき	14 (26.4)	21 (39.6)	35 (66.0)	10 (18.9)	8 (15.1)	53 (100)
人が輝くいばらき	7 (21.9)	11 (34.4)	18 (56.3)	11 (34.4)	3 (9.3)	32 (100)
合 計	55 (35.7)	48 (31.2)	103 (66.9)	32 (20.8)	19 (12.3)	154 (100)



『B+評価』以上, 『★★★』以上の指標が約7割であり, 概ね順調

地域計画編

地域計画の施策にかかる評価（概要） 北部広域連携圏

3年間の評価の総括

- 大強度陽子加速器（J-PARC）が供用開始
 - 交通インフラの整備など、本県の立地優位性により企業立地が好調に推移
 - 県北地域の豊かな自然や歴史を活かした「いばらきさとやま生活」の発信により交流や二地域居住が拡大
- 一定の成果が上がってきている。

○ 21世紀の我が国を先導する先端産業地域と北関東の新たな物流・産業拠点の形成

3年間の主な取組

- ◇産学共同プロジェクトの推進や中性子ビーム実験装置の整備推進、大学・日立のものづくり技術を活かしたベンチャー企業の創出。
(新規ベンチャー企業数:3年間で27社)
- ◇3港統合による茨城港の誕生。
- ◇交通インフラ整備や都心への近接性等により、工場立地が促進。
(工場立地動向調査:3年間で91件)

今後の方向

- ◇産学官の共同研究テーマの発掘やベンチャー企業の支援、陸・海・空のネットワークを活かした物流・産業拠点の形成。

○ 県北からの新しいライフスタイルの発信や自然、歴史等の活用による首都圏を代表する交流・二地域居住空間の形成

3年間の主な取組

- ◇「いばらきさとやま生活」のPRなどによるブランドイメージの構築、ホームページ・ブログによる地域情報の提供など、積極的な情報発信を展開。
(ホームページアクセス件数:160件/日)
- ◇グリーンふるさと振興機構を中心に「グリーン・ブルーツーリズム」や田舎暮らしの体験事業を展開。
- ◇「水戸ひたち観光圏」の認定を契機とした観光客の増加と宿泊観光の促進



今後の方向

- ◇地域の魅力の積極的な情報発信や周遊・滞在型観光の推進等による首都圏を代表する交流・二地域居住空間の形成。

○ 安心・安全で快適に暮らせる生活環境圏の形成

3年間の主な取組

- ◇市町道の代行整備や携帯電話不感地域の解消、雇用の場の確保としての宮の郷工業団地への企業立地。

今後の方向

- ◇医師確保対策の推進や就業機会の創出等による、安心・安全で快適に暮らせる生活環境圏の形成。

○ 県都水戸・ひたちなか地区を中心とした中核都市圏の形成

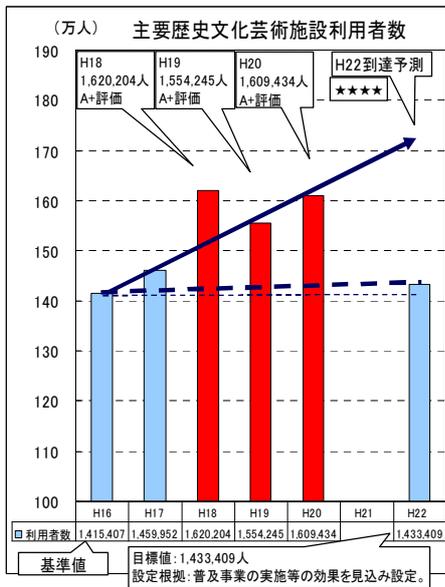
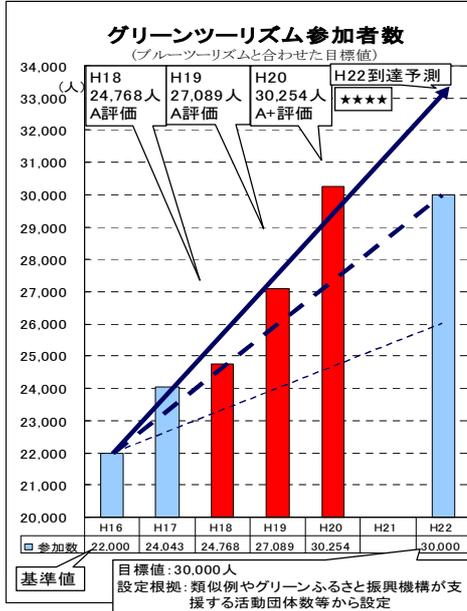
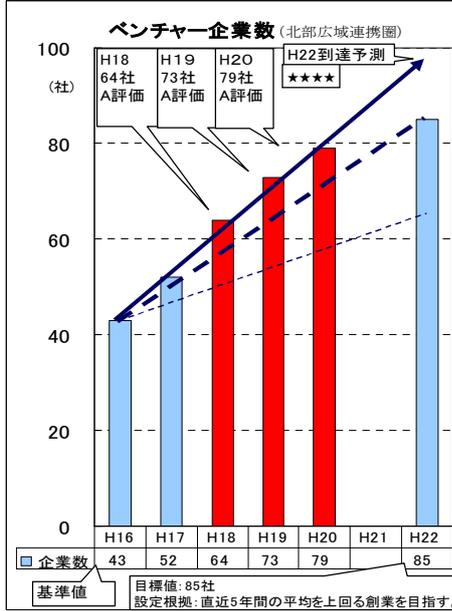
3年間の主な取組

- ◇水戸駅南口の土地区画整理事業が完了し、やさしさのまち「桜の郷」の整備が進展。

今後の方向

- ◇都市機能の充実や企業誘致の推進とあわせ、環状道路等の広域交通網の整備を推進。

【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】
北部広域連携圏



実績によるH22到達予測線 →
 期待値 - - -
 期待値の達成度5割線 - - - -

地域計画の施策にかかる評価（概要） 南部広域連携圏

3年間の評価の総括

- つくばエクスプレスや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備進捗により沿線地域のまちづくりや企業立地が進展。
- 研究学園都市や筑波山をはじめとする地域資源が見直され、広域交流が活発化。
- 農業では、消費者ニーズに対応した産地づくりやブランド戦略の進展。

→ 一定の成果が上がってきている。

○東京圏との交流拡大等を通じた躍動する都市軸の形成

3年間の主な取組

◇つくばエクスプレス沿線地域における「つくばスタイル」の実現を目指した魅力的なまちづくりの推進とサイエンスツアーの実施などによる交流の拡大。
（つくばエクスプレスの利用者：H20 約25.7万人/日）
（つくばの研究機関への一般来場者数：H20 約65万人/年）



今後の方向

◇交通手段や、宅地分譲の情報発信等により、企業立地を促進し、併せて常磐線沿線や常総線沿線の魅力的なまちづくりを推進。

○最先端の科学技術や素材産業の集積を活かした我が国を代表する産業地域の形成

3年間の主な取組

- ◇鹿島地域で、地域特性を活かした積極的な企業誘致の促進。
(3年間で11件立地)
- ◇つくば地区では、産学官連携による共同研究が進展。
(3年間で23件の技術移転、40件の研究成果の製品化)

今後の方向

- ◇広域交通体系の整備を活かし、新事業・新産業の創出と研究機能を充実、積極的な企業誘致の推進。

○新鮮・安全で、多様な消費者ニーズに応え、日本の食を支える食料供給基地の形成

3年間の主な取組

- ◇「メロン」などの首都圏等への重点的PRIによるイメージアップ。
- ◇消費者ニーズに対応した農産物の生産体制の強化。

今後の方向

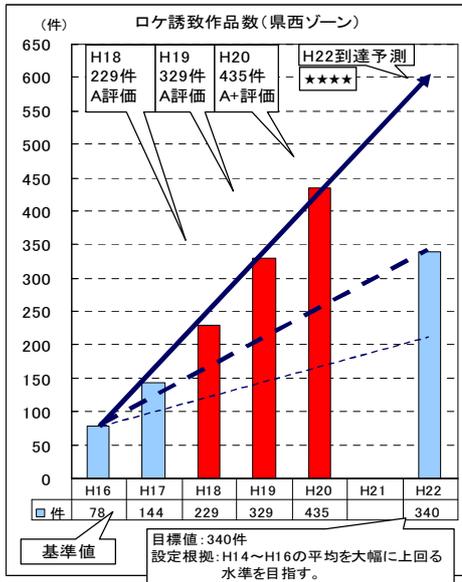
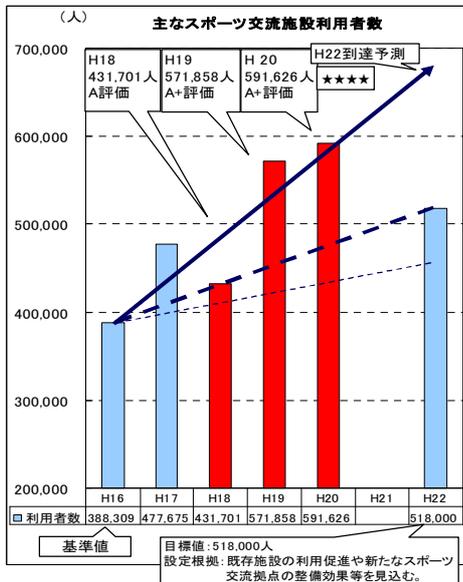
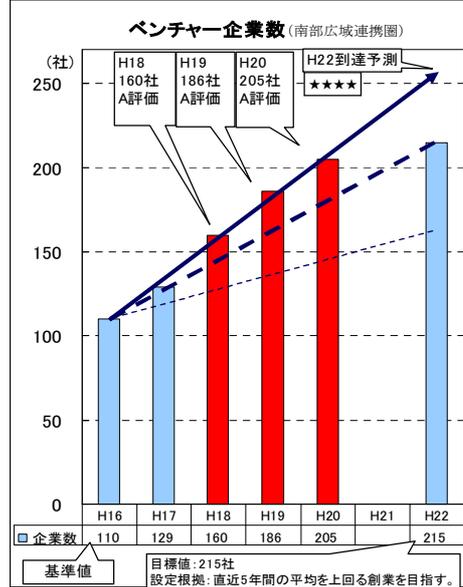
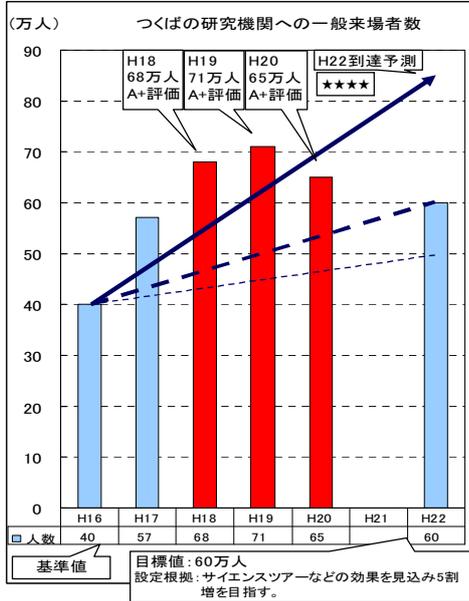
- ◇農業のブランド化や「エコ農業茨城」を推進し、消費者に安心の産地づくりを展開。

○筑波山や霞ヶ浦、伝統、スポーツ等の恵まれた地域資源を活かした首都圏を代表する観光・交流空間の形成

3年間の主な取組

今後の方向

【主な数値目標の進捗状況・目標達成見込み】
南部広域連携圏



実績によるH22到達予測線 ———→
期待値 ————
期待値の達成度5割線 - - - - -

【数値目標の進捗状況（総括表）】

区分	A+ 評価	A 評価	B+ 評価	B+評価 以上	B 評価	C 評価	評価対象 指標数
北部広域連携圏	17 (35.4)	13 (27.1)	11 (22.9)	41 (85.4)	4 (8.3)	3 (6.3)	48 (100)
南部広域連携圏	10 (16.9)	25 (42.4)	14 (23.7)	49 (83.1)	0 (0.0)	10 (16.9)	59 (100)

【数値目標の達成見込（総括表）】

区分	★★★★ 目標達成 ができる 見込み	★★★ もう少しの努力で目 標達成ができる見込 み	★★★ 以上	★★ 目標達成には努力が 必要	★ 目標達成には一層の 努力が必要	評価対象 指標数
北部広域連携圏	12 (66.7)	4 (22.2)	16 (88.9)	1 (5.6)	1 (5.6)	18 (100)
南部広域連携圏	12 (57.1)	6 (28.6)	18 (85.7)	0 (0.0)	3 (14.3)	21 (100)

北部広域連携圏，南部広域連携圏ともに

『B+評価』以上，『★★★』以上の指標が8割以上であり，概ね順調